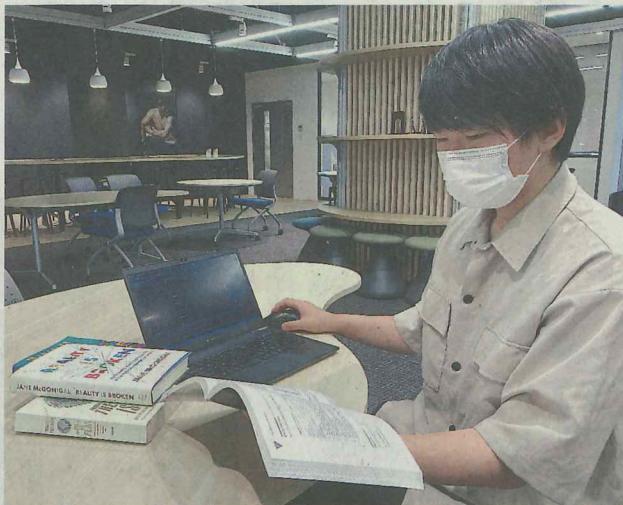


特待生通知 オンライン



広島工業大



4年

近藤令奈

広島工業大(広島市佐伯区)は、学業成績などを基に授業料を減免する特待生たちへの

通知式をオンラインで開いた。本年度の対象者は614人。長坂康史学長(55)が制度について説明した。

特待生制度は、人間力を身に付け、学業成績が特に優秀な学生に対して授業料などを減免する制度。成績のほか、社会貢献活動や自己啓発活動などを行うことでもらえる「HITポイント」など一定の基準を満たす必要がある。

「HIT」は大学の略称。長坂学長は「専門の学びを深め、他の学生の模範となり、社会で輝く人材となるよう制度を設けている。ぜひ活用し、学生生活を充実させてほしい」と激励した。

昨年10月1日、専門の学びに1年生から触れられるよう、情報学部内に「HITイノベーション・ハブ」を新設した。情報システムや応用ア

614人対象 学長が制度説明

プリケーションを展示してあり、訪れる学生は「コミュニケーションをデザインする」という概念を理解し、教育プログラムを自ら考えられる空間になっている。大学では、

専門力や人間力を備えた技術者を育てるため、これからも制度や環境を充実させていく方針という。

この施設を利用している特待生の情報コミュニケーション学科2年奥平泰基さん(19)は「特待生の通知を受け、努力が評価されたことに達成感を感じた。多くの専門知識を身に付けて、アプリケーション開発ができるようになりたい」と目標を語った。

HITイノベーション・ハブでプログラミングをする奥平さん

